

第6回山口大学・環境DNA研究センターシンポジウム

環境DNA研究の最前線と

企業の取り組み

山口大学では近年注目を集めている環境DNA研究を推進する「環境DNA研究センター」を2018年7月に設置しました。センターの第6回シンポジウムとして、環境DNAに関する最先端の研究について5名の研究者からご講演をいただきます。

日時

2023年11月22日(水)

13:20~17:00

開催方式

ハイブリッド開催

◆オンライン：ZOOMウェビナー

◆現地会場：山口大学工学部 D11講義室

 土木学会認定CPD 取得中

- | | |
|-------------|--|
| 13:20~13:30 | 開会挨拶
山口大学大学院 創成科学研究科 教授(環境DNA研究センター長) 赤松 良久 |
| 13:30~14:10 | 「環境DNA系統地理:水を汲んで生物の地理的分化パターンを明らかにする」
京都大学大学院 情報学研究科 助教 辻 冨月 氏 |
| 14:10~14:50 | 「昆虫類におけるMtInsects-16Sプライマーを用いた環境DNA研究
-従来のCOIプライマーとの比較-」
信州大学 理学部 特任助教 竹中 將起 氏 |
| 14:50~15:20 | 「環境DNAでのダム湖魚類相の可視化への挑戦」
応用地質株式会社 地球環境事業部 応用生態工学研究所 所長 沖津 二郎 氏 |
| 15:20~15:40 | 休憩 |
| 15:40~16:10 | 「河川環境調査における環境DNAの活用の可能性」
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 阿河 一穂 氏 |
| 16:10~16:50 | 「環境DNAを用いた流域網羅的な魚類多様性評価」
山口大学大学院 創成科学研究科 准教授(特命) 宮園 誠二 氏 |
| 16:50~17:00 | 閉会挨拶 |

オンライン参加の申込方法

本講演会はZoomウェビナーを利用します。山口大学 環境DNA研究センターの[ホームページ](#)より**11月17日(金)までに申込**をお願いいたします。申込後、登録完了メールが届きます。講演会の参加方法および注意事項は11月21日(火)にメールいたしますのでご確認ください。

申込先↓



現地会場参加の申込方法

「環境DNA研究の最前線と企業の取り組み」への参加の旨を明記の上、必要事項(所属、氏名)を山口大学環境DNA研究センター事務局 cedna@yamaguchi-u.ac.jp へ**11月17日(金)までにメールでお申込**ください。会場の変更等がございましたら、11月21日(火)までにメールいたしますのでご確認ください。

※ 申込締切は 令和5年11月17日(金)まで

現地会場までのアクセス

会場：山口大学工学部D11講義室
(D棟 1F)
住所：山口県宇部市常盤台2-16-1

- ・宇部空港からタクシーで10分
- ・JR宇部新川駅からタクシーで15分
- ・JR宇部新川駅から宇部市営バスで15分

